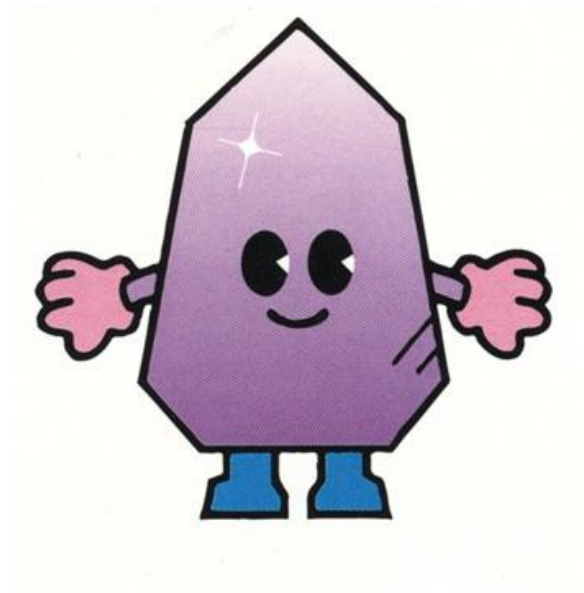


石川町国民健康保険  
第2期データヘルス計画  
中間評価書



令和3年3月  
石川町

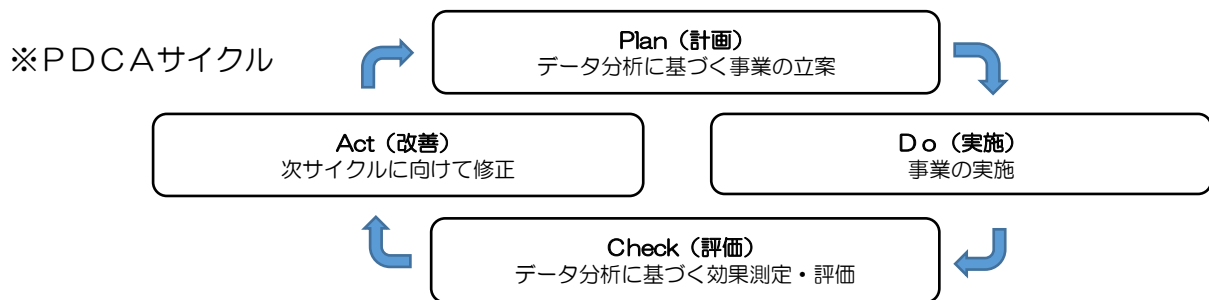
# 目 次

1. 計画の概要	・・・1
2. 中間評価の目的と方法	・・・1
3. 石川町の現状	
(1) 人口構成概要	・・・2
(2) 年度別被保険者数	・・・3
(3) 医療基礎情報	・・・3
(4) 特定健診受診状況	・・・4
(5) 特定保健指導実施率	・・・6
(6) 介護保険の状況	・・・7
(7) 主たる死因の状況	・・・9
(8) 医療費分析	・・・10
4. 個別事業の評価・見直し・改善策	
(1) 特定健診未受診者受診勧奨事業	・・・13
(2) 国保人間ドック実施事業	・・・14
(3) 特定保健指導事業	・・・15
(4) 健診異常値放置者受診勧奨事業	・・・16
(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業	・・・17
(6) ジェネリック医薬品差額通知事業	・・・18
(7) 健康ポイント（いしかわマイレージ）事業	・・・19
(8) ポピュレーションアプローチ事業	・・・20
5. 個別事業の達成状況及び最終目標値	・・・21
6. 全体の評価・見直しと今後の方向性	
(1) 全体の評価	・・・22
(2) 見直しと今後の方向性	・・・23

## 1. 計画の概要

データヘルス計画は、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)により、特定健康診査(特定健診)の結果や診療報酬明細書(レセプト)などから得られるデータの分析に基づき、PDCAサイクルに沿った、健康の保持・増進に効果的かつ効率的な保健事業を行うための計画であり、作成・公表、事業実施、評価等の取り組みが国から義務付けられました。

本町においては、平成28年・29年の2年を第1期計画期間として第1期データヘルス計画を策定し、平成29年度には平成30年度から令和5年度までの6年間の計画として、第2期データヘルス計画を策定し事業を実施してきたところです。



## 2. 中間評価の目的と方法

計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行うこととしていますが、令和2年度は第2期データヘルス計画の中間評価・見直しの年度となっています。

中間評価・見直しにあたっては、データヘルス計画全体の評価を行うため、本町の現状把握のためKDBシステム(国保データベースシステム)及び業者委託により分析した医療費データ等を活用しながら、計画に基づき実施した個別事業の実績等を振り返り、計画の目的・目標の達成状況・指標の在り方について整理・評価を行うこととし、達成状況により事業内容の見直し改善を行い、評価については、下記の4つの区分により判定することとします。

- ※評価区分 A：目標値を達成                      B：目標値は未達成だが、改善傾向  
C：目標値が未達成で、悪化傾向            D：評価困難

### 第2期データヘルス計画の中間評価・見直しのスケジュール

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	第2期 計画策定	第2期データヘルス計画期間						
平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績				
				中間評価 見直し	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	
	中間評価 に活用						評価・計画 策定	第3期 計画期間

### 3. 石川町の現状

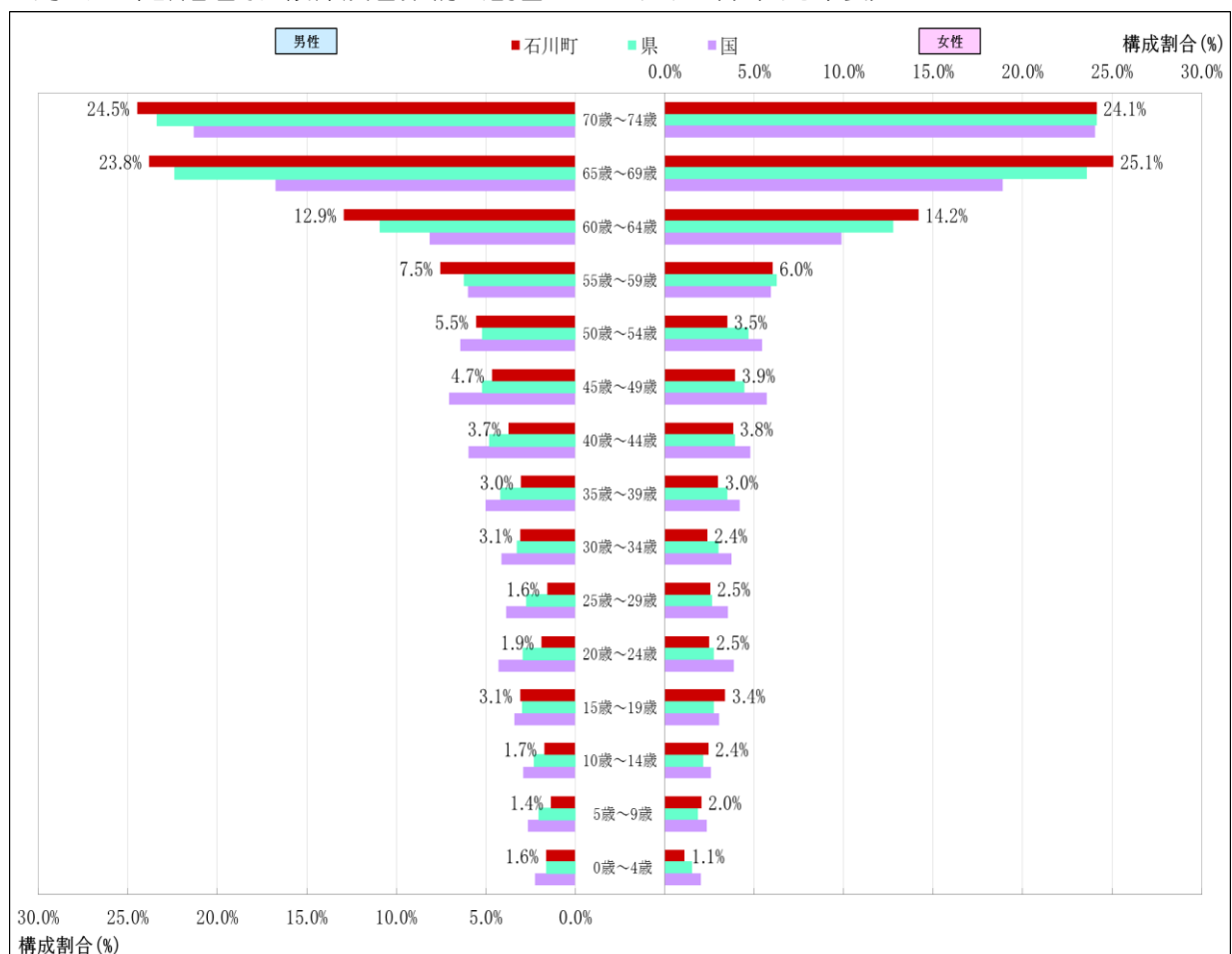
#### (1) 人口構成概要（令和元年度）

本町の令和元年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は37.5%であり、県との比較で1.3倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は3,719人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は25.7%である。国民健康保険被保険者平均年齢は56.1歳である。

	人口総数(人) (R2.4.1)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
石川町	14,459	37.5%	3,719	25.0%	56.1	5.4%	15.4%
県	1,891,460	28.7%	414,772	21.9%	54.8	7.5%	12.8%
国	125,640,987	26.6%	29,893,491	23.8%	51.6	8.0%	10.3%

※石川町の人口総数と高齢化率は石川町現住人口（令和2年4月1日現在）を使用。  
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

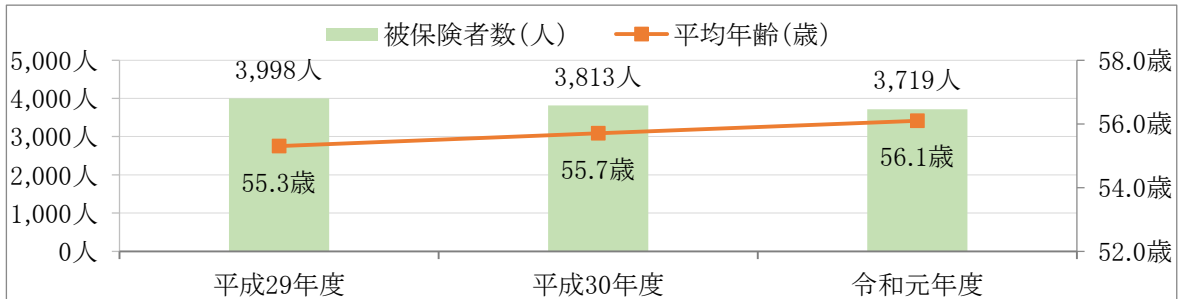
#### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド（令和元年度）



※出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 年度別被保険者数

令和元年度を平成 29 年度と比較すると、国民健康保険被保険者数 3,719 人は平成 29 年度 3,998 人より 279 人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢 56.1 歳は平成 29 年度 55.3 歳より 0.8 歳上昇している。



※出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(3) 医療基礎情報(令和元年度)

石川町には、入院施設がないため、入院が必要となった場合、他市町村の入院施設に頼らなくてはならない状況である。医師数も千人当たり 2.7 人で県 5.9 人、国 10.7 人と比較しても少ない状況である。

石川町の医療機関受診率は、669.6(被保険者が年間、1 人 6 回医療機関を受診)で県や国と比較して低いものの、1 件当たり医療費が 39,930 円で県 36,880 円、国 37,410 円と比較して高くなっている。

医療項目	石川町	県	国
千人当たり			
病院数	0.0	0.3	0.3
診療所数	2.7	3.3	3.4
病床数	0.0	61.6	52.0
医師数	2.7	5.9	10.7
外来患者数	650.8	727.7	682.3
入院患者数	18.8	20.6	18.7
受診率	669.6	748.3	701.0
一件当たり医療費(円)	39,930	36,880	37,410
一般(円)	39,960	36,890	37,410
退職(円)	14,480	30,170	36,550
後期(円)	0	0	0
外来			
外来費用の割合	58.0%	59.3%	59.6%
外来受診率	650.8	727.7	682.3
一件当たり医療費(円)	23,840	22,490	22,890
一人当たり医療費(円)	15,510	16,360	15,620
一日当たり医療費(円)	16,990	15,910	15,080
一件当たり受診回数	1.4	1.4	1.5
入院			
入院費用の割合	42.0%	40.7%	40.4%
入院率	18.8	20.6	18.7
一件当たり医療費(円)	596,160	544,990	567,030
一人当たり医療費(円)	11,230	11,230	10,600
一日当たり医療費(円)	39,420	33,440	36,070
一件当たり在院日数	15.1	16.3	15.7

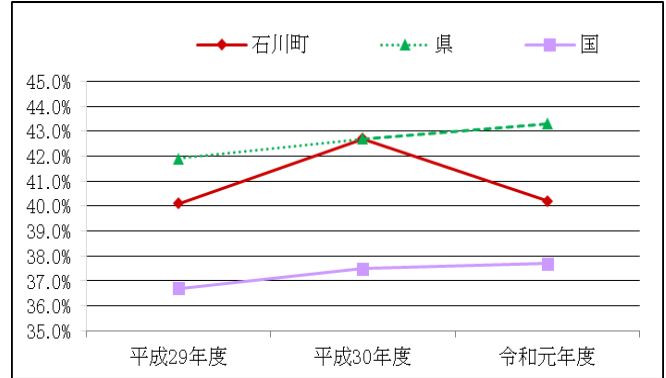
※出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 特定健診受診状況

本町の平成29年度から令和元年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。令和元年度の特定健康診査受診率40.2%は、集団健診の実施日が令和元年台風第19号と重なったこともあり、平成29年度40.1%より0.1ポイントの上昇に止まる結果となった。

年度別 特定健康診査受診率

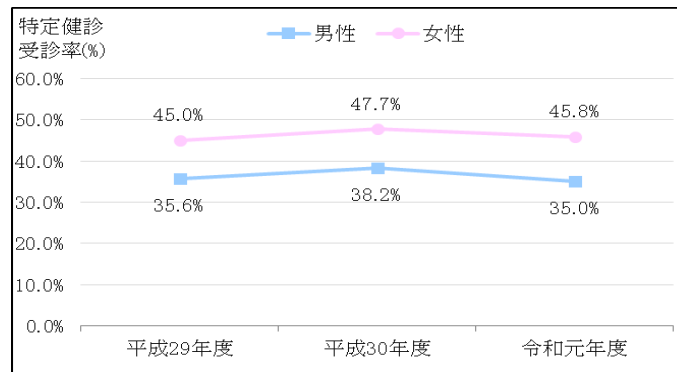
	特定健診受診率		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
石川町	40.1%	42.7%	40.2%
県	41.9%	42.7%	43.3%
国	36.7%	37.5%	37.7%



※出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

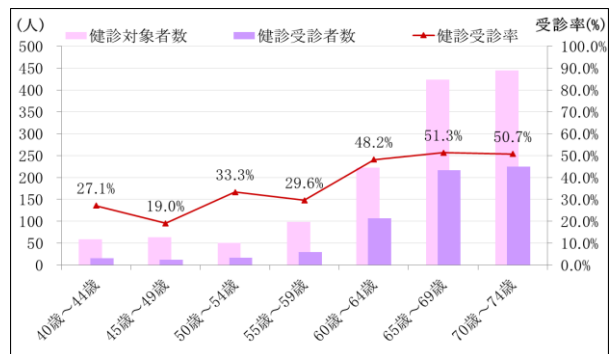
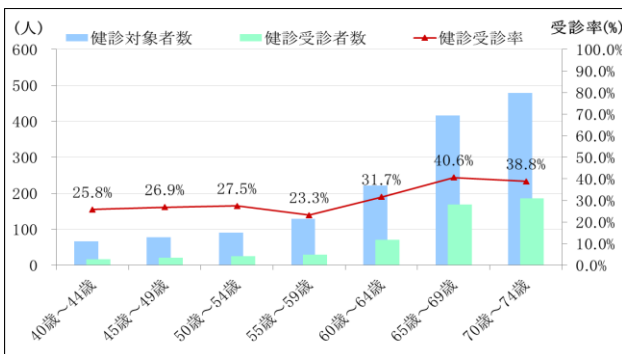
#### 年度別・男女別・年齢別 特定健康診査受診率

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和元年度受診率35.0%は平成29年度35.6%より0.6ポイント減少し、女性の令和元年度受診率45.8%は平成29年度45.0%より0.8ポイントの上昇となった。男女別に見ると男性の受診率が各年度とも約10%低く、年齢別では50代以下の若い年齢層の受診率が低い。



(男性) 年齢別特定健診受診率 (令和元年度)

(女性) 年齢別特定健診受診率 (令和元年度)



※出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別・男女別 特定健康診査の有所見者の状況

性別	受診者	摂取エネルギーの過剰										血管を傷つける				
		BMI		腹囲		中性脂肪		ALT (GPT)		HDLコレステロール		空腹時血糖		HbA1c		
		25以上 (人)	割合 (%)	85以上 (人)	割合 (%)	150以上 (人)	割合 (%)	31以上 (人)	割合 (%)	40未満 (人)	割合 (%)	100以上 (人)	割合 (%)	5.6以上 (人)	割合 (%)	
男性	平成29年度	560	209	37.3	315	56.3	154	27.5	144	25.7	39	7.0	296	52.9	347	62.0
男性	平成30年度	582	229	39.3	318	54.6	145	24.9	148	25.4	46	7.9	315	54.1	345	59.3
男性	令和元年度	518	193	37.3	297	57.3	128	24.7	123	23.7	35	6.8	288	55.6	303	58.5
性別	受診者	血管を傷つける						内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因		臓器障害						
		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール		血清クレアチニン		心電図		眼底検査		
		7.0以上 (人)	割合 (%)	130以上 (人)	割合 (%)	85以上 (人)	割合 (%)	120以上 (人)	割合 (%)	1.3以上 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	
男性	平成29年度	560	93	16.6	356	63.6	147	26.3	263	47.0	12	2.1	130	23.2	499	89.1
男性	平成30年度	582	110	18.9	379	65.1	174	29.9	281	48.3	19	3.3	132	22.7	479	82.3
男性	令和元年度	518	85	16.4	344	66.4	150	29.0	250	48.3	14	2.7	116	22.4	453	87.5
性別	受診者	摂取エネルギーの過剰										血管を傷つける				
		BMI		腹囲		中性脂肪		ALT (GPT)		HDLコレステロール		空腹時血糖		HbA1c		
		25以上 (人)	割合 (%)	90以上 (人)	割合 (%)	150以上 (人)	割合 (%)	31以上 (人)	割合 (%)	40未満 (人)	割合 (%)	100以上 (人)	割合 (%)	5.6以上 (人)	割合 (%)	
女性	平成29年度	647	174	26.9	126	19.5	111	17.2	64	9.9	5	0.8	243	37.6	415	64.1
女性	平成30年度	668	180	26.9	170	25.4	83	12.4	82	12.3	1	0.1	276	41.3	413	61.8
女性	令和元年度	623	169	27.1	145	23.3	107	17.2	62	10.0	6	1.0	264	42.4	428	68.7
性別	受診者	血管を傷つける						内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因		臓器障害						
		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール		血清クレアチニン		心電図		眼底検査		
		7.0以上 (人)	割合 (%)	130以上 (人)	割合 (%)	85以上 (人)	割合 (%)	120以上 (人)	割合 (%)	1.3以上 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	
女性	平成29年度	647	7	1.1	359	55.5	113	17.5	345	53.3	4	0.6	115	17.8	560	86.6
女性	平成30年度	668	16	2.4	388	58.1	133	19.9	340	50.9	2	0.3	117	17.5	514	76.9
女性	令和元年度	623	14	2.2	376	60.4	124	19.9	335	53.8	4	0.6	106	17.0	532	85.4
性別	受診者	摂取エネルギーの過剰										血管を傷つける				
		BMI		腹囲		中性脂肪		ALT (GPT)		HDLコレステロール		空腹時血糖		HbA1c		
		25以上 (人)	割合 (%)	85,90以上 (人)	割合 (%)	150以上 (人)	割合 (%)	31以上 (人)	割合 (%)	40未満 (人)	割合 (%)	100以上 (人)	割合 (%)	5.6以上 (人)	割合 (%)	
総数	平成29年度	1,207	383	31.7	441	36.5	265	22.0	208	17.2	44	3.6	539	44.7	762	63.1
総数	平成30年度	1,250	409	32.7	488	39.0	228	18.2	230	18.4	47	3.8	591	47.3	758	60.6
総数	令和元年度	1,141	362	31.7	442	38.7	235	20.6	185	16.2	41	3.6	552	48.4	731	64.1
性別	受診者	血管を傷つける						内臓脂肪症候群以外の動脈硬化要因		臓器障害						
		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDLコレステロール		血清クレアチニン		心電図		眼底検査		
		7.0以上 (人)	割合 (%)	130以上 (人)	割合 (%)	85以上 (人)	割合 (%)	120以上 (人)	割合 (%)	1.3以上 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	数 (人)	割合 (%)	
総数	平成29年度	1,207	100	8.3	715	59.2	260	21.5	608	50.4	16	1.3	245	20.3	1059	87.7
総数	平成30年度	1,250	126	10.1	767	61.4	307	24.6	621	49.7	21	1.7	249	19.9	993	79.4
総数	令和元年度	1,141	99	8.7	720	63.1	274	24.0	585	51.3	18	1.6	222	19.5	985	86.3

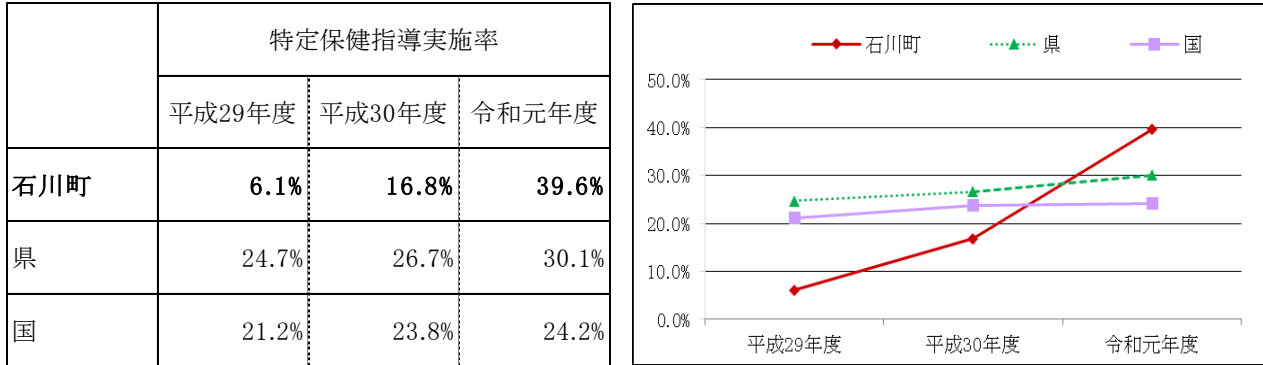
※出典:国保データベース(KDB)システム「厚生労働省様式(様式5-2)健診有所見者状況」

(5) 特定保健指導実施率

本町の平成29年度から令和元年度における、特定保健指導の実施率を年度別に示す。

令和元年度の特定保健指導の実施率は平成29年度6.1%より33.5ポイント上昇し、国・県を上回っている。

年度別 特定保健指導実施率



※出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

年度別 メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移

特定健診	石川町			県			国			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
受診率	40.1%	42.7%	40.2%	41.9%	42.7%	43.3%	36.7%	37.5%	37.7%	
メタボ	22.5%	23.5%	23.9%	20.5%	21.0%	21.3%	17.9%	18.4%	19.0%	
予備軍	男	33.8%	34.0%	35.5%	31.2%	31.9%	32.5%	28.4%	29.2%	29.9%
	女	12.7%	14.4%	14.3%	12.1%	12.5%	12.4%	9.8%	10.0%	10.4%
非肥満高血糖	男	11.4%	13.0%	12.3%	12.3%	12.4%	12.2%	10.9%	11.1%	11.1%
	女	17.5%	17.0%	18.5%	18.6%	18.7%	18.4%	17.4%	17.7%	17.7%
特定保健指導実施率	6.0%	9.6%	7.1%	7.4%	7.4%	7.2%	5.9%	6.0%	6.0%	
検査値 (メタボ、予備軍レベル)	10.9%	11.0%	12.1%	9.0%	9.1%	9.4%	9.4%	9.3%	9.3%	
腹囲	6.1%	16.8%	39.6%	24.7%	26.7%	30.1%	21.2%	23.8%	24.2%	
男	36.5%	39.0%	38.7%	36.3%	36.9%	36.8%	32.2%	33.2%	33.9%	
女	56.3%	54.6%	57.3%	54.8%	55.6%	55.7%	51.3%	52.6%	53.4%	
BMI	19.5%	25.4%	23.3%	21.9%	22.2%	21.8%	17.7%	18.2%	18.6%	
男	6.8%	5.8%	5.5%	6.1%	6.0%	6.1%	5.1%	5.0%	5.0%	
女	2.1%	3.4%	2.1%	2.1%	2.0%	2.1%	1.9%	1.9%	1.8%	
血糖	10.8%	7.9%	8.3%	9.3%	9.1%	9.3%	7.5%	7.5%	7.4%	
血糖・血圧	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	
血糖・脂質	8.3%	9.6%	9.7%	9.0%	9.0%	8.8%	7.5%	7.7%	7.7%	
脂質	2.2%	2.6%	1.7%	2.6%	2.6%	2.6%	2.7%	2.7%	2.7%	
血糖・血圧	4.5%	6.3%	5.3%	3.6%	3.7%	3.7%	2.8%	2.9%	2.9%	
血糖・脂質	1.0%	0.6%	1.3%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.1%	
血圧・脂質	10.5%	9.6%	9.8%	9.7%	10.0%	9.9%	8.6%	8.8%	9.0%	
血糖・血圧・脂質	6.5%	7.0%	7.5%	6.2%	6.3%	6.7%	5.5%	5.8%	6.0%	

※出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」

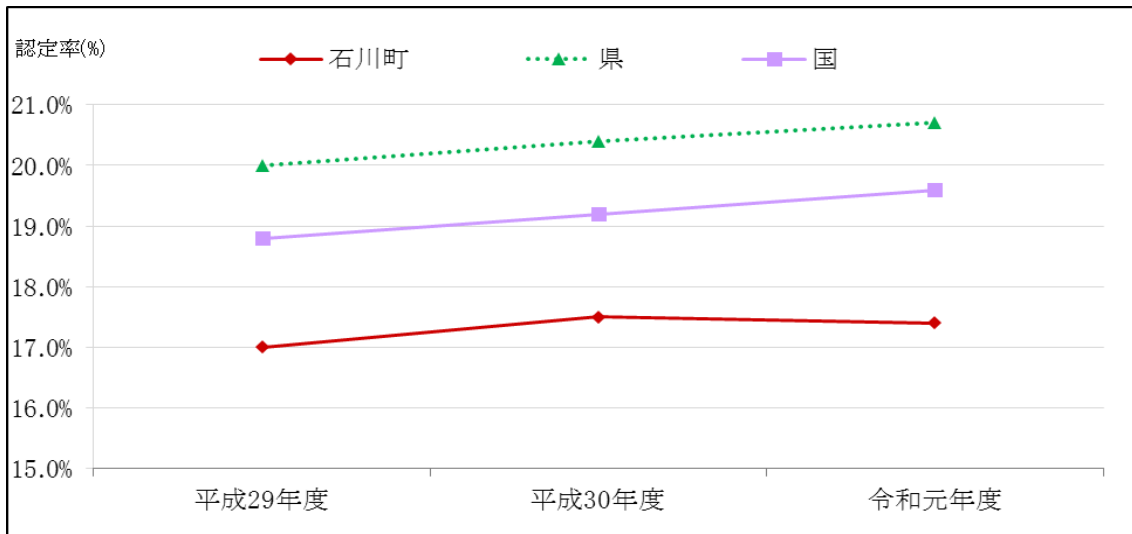


(6) 介護保険の状況

本町の平成29年度から令和元年度における、介護保険の認定率を年度別に示す。  
令和元年度の認定率は平成29年度17.0%より0.4ポイント上昇している。

年度別 認定率及び認定者数

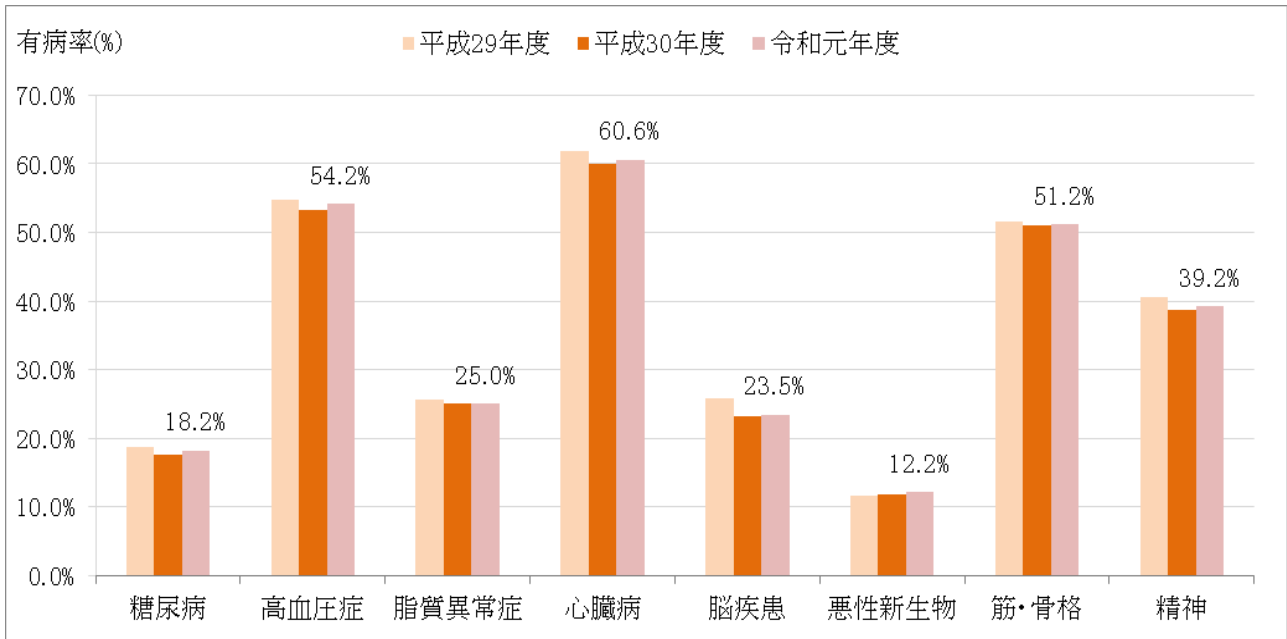
区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
石川町	平成29年度	17.0%	925	904	21
	平成30年度	17.5%	925	904	21
	令和元年度	17.4%	954	935	19
県	平成29年度	20.0%	112,011	109,150	2,861
	平成30年度	20.4%	114,194	111,241	2,953
	令和元年度	20.7%	117,390	114,397	2,993
国	平成29年度	18.8%	6,208,699	6,057,292	151,407
	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	令和元年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813



※出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」(上下とも)

年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

区分	石川町						県			国			
	平成29年度	順位	平成30年度	順位	令和元年度	順位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
認定者数(人)	925		925		954								
糖尿病	実人数(人)	179	7	155	7	175	7	22,268	22,581	23,263	1,396,109	1,470,196	1,537,914
	有病率(%)	18.7%		17.6%		18.2%		19.7%	19.7%	19.8%	22.2%	22.4%	23.0%
高血圧症	実人数(人)	510	2	501	2	518	2	62,841	63,481	64,848	3,176,320	3,318,793	3,472,146
	有病率(%)	54.8%		53.2%		54.2%		55.9%	55.6%	55.4%	50.8%	50.8%	51.7%
脂質異常症	実人数(人)	233	6	234	6	247	6	32,182	33,079	34,567	1,804,586	1,915,551	2,036,238
	有病率(%)	25.7%		25.0%		25.0%		28.4%	28.8%	29.3%	28.7%	29.2%	30.1%
心臓病	実人数(人)	573	1	563	1	584	1	69,774	70,610	72,111	3,612,547	3,770,674	3,939,115
	有病率(%)	61.8%		60.0%		60.6%		62.1%	61.9%	61.6%	57.8%	57.8%	58.7%
脳疾患	実人数(人)	226	5	211	5	212	5	29,606	29,079	28,697	1,540,429	1,563,143	1,587,755
	有病率(%)	25.9%		23.3%		23.5%		26.7%	25.8%	24.9%	24.9%	24.3%	24.0%
悪性新生物	実人数(人)	97	8	110	8	128	8	11,309	11,751	12,206	657,405	702,800	739,425
	有病率(%)	11.7%		11.9%		12.2%		10.0%	10.2%	10.3%	10.4%	10.7%	11.0%
筋・骨格	実人数(人)	476	3	475	3	491	3	58,674	59,682	60,677	3,150,734	3,305,225	3,448,596
	有病率(%)	51.6%		51.0%		51.2%		52.2%	52.2%	52.0%	50.4%	50.6%	51.6%
精神	実人数(人)	372	4	354	4	378	4	43,985	44,381	44,549	2,222,308	2,339,782	2,437,051
	有病率(%)	40.5%		38.8%		39.2%		39.1%	38.9%	38.4%	35.5%	35.8%	36.4%



※出典:国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」(上下とも)

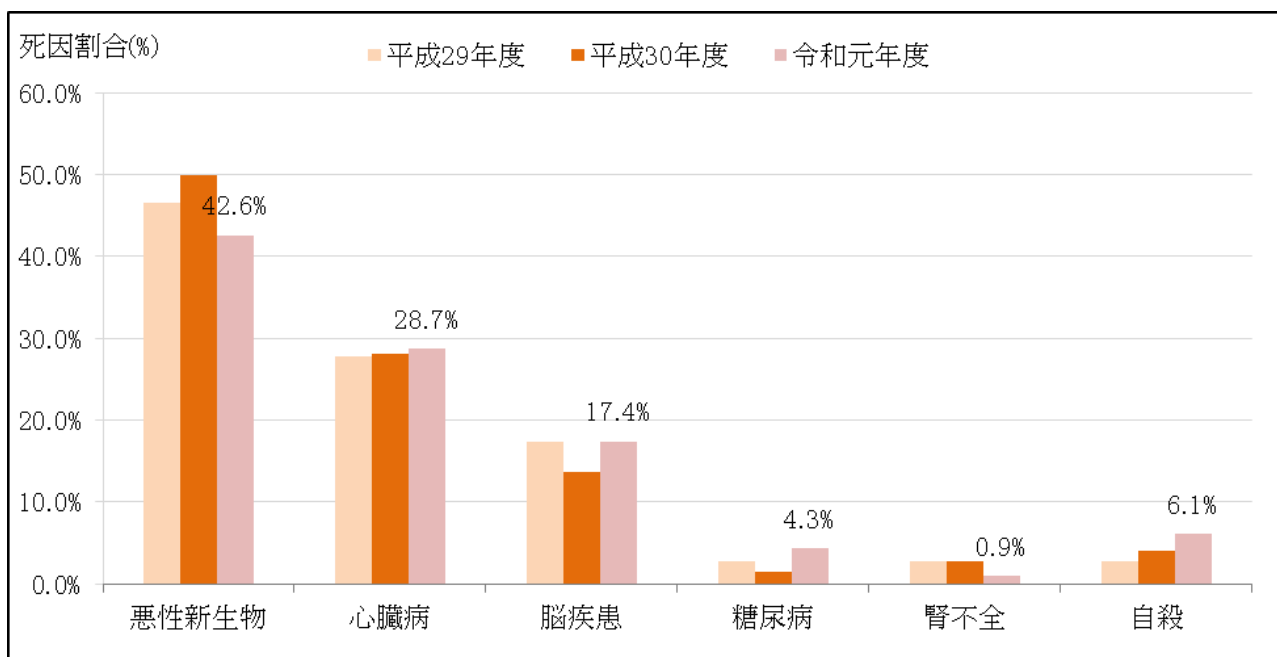
(7) 主たる死因の状況

本町の平成 29 年度から令和元年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。

各年度とも悪性新生物（がん）による割合が最も多く、次いで心臓病、脳疾患の割合が多い状況となっている。

年度別 疾病別死因割合

疾病項目	石川町						県			国		
	人数(人)			割合(%)			平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度						
悪性新生物	67	73	49	46.5%	50.0%	42.6%	44.9%	46.6%	46.0%	50.1%	50.5%	49.9%
心臓病	40	41	33	27.8%	28.1%	28.7%	29.3%	28.6%	29.1%	26.5%	26.8%	27.4%
脳疾患	25	20	20	17.4%	13.7%	17.4%	17.7%	17.3%	17.1%	15.2%	14.8%	14.7%
糖尿病	4	2	5	2.8%	1.4%	4.3%	2.0%	2.2%	2.0%	1.8%	1.8%	1.9%
腎不全	4	4	1	2.8%	2.7%	0.9%	3.3%	2.8%	3.2%	3.3%	3.3%	3.4%
自殺	4	6	7	2.8%	4.1%	6.1%	2.9%	2.5%	2.7%	3.1%	2.8%	2.7%
合計	144	146	115									



※出典国保データベース(KDB)システム「地域全体像の把握」(上下とも)

(8) 医療費分析

業者委託により、本町の平成31年4月～令和2年3月診療分の入院（DPC含む）、入院外、調剤のレセプトのデータから得られる情報を基に分析を行い、第2期計画策定時の分析との比較を行った。分析結果の一部を下記に示す。

レセプト情報分析（第2期計画策定時との比較）

		平成28年度	令和元年度	増減	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	4,267	3,819	-448	
B	レセプト件数(件)	入院外	32,588	29,130	-3,458
		入院	1,011	836	-175
		調剤	21,994	19,922	-2,072
		合計	55,593	49,888	-5,705
C	医療費(円) ※	1,292,491,870	1,195,427,550	-97,064,320	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	2,074	1,853	-221	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	302,880	313,121	10,241	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,249	23,962	713	
D/A	有病率(%)	48.6%	48.5%	-0.1%	

※出典:石川町第2期データヘルス計画、石川町国民健康保険ポテンシャル分析

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。

※同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。

高額レセプト件数及び割合（第2期計画策定時との比較）

		平成28年度	令和元年度	増減
A	レセプト件数(件)	55,593	49,888	-5,705
B	高額レセプト件数(件)	462	429	-33
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.1%
C	医療費(円) ※	1,292,491,870	1,195,427,550	-97,064,320
D	高額レセプトの医療費(円) ※	437,619,000	432,927,380	-4,691,620
E	その他レセプトの医療費(円) ※	854,872,870	762,500,170	-92,372,700
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.9%	36.2%	2%

※出典:石川町第2期データヘルス計画、石川町国民健康保険ポテンシャル分析

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額未満(5万点未満)レセプトの医療費。

大分類による疾病別医療費統計 大分類コード順(第2期計画策定時との比較)

疾病分類(大分類)	平成28年度			令和元年度			増減 医療費(円) ※
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	
I. 感染症及び寄生虫症	34,612,409	2.7%	12	25,129,861	2.1%	12	-9,482,548
II. 新生物<腫瘍>	193,372,260	15.0%	2	216,815,216	18.2%	2	23,442,956
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,395,835	0.5%	15	15,780,416	1.3%	15	9,384,581
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	124,659,411	9.7%	3	120,113,000	10.1%	3	-4,546,411
V. 精神及び行動の障害	95,263,347	7.4%	4	79,469,292	6.7%	5	-15,794,055
VI. 神経系の疾患	83,225,810	6.4%	7	76,158,797	6.4%	6	-7,067,013
VII. 眼及び付属器の疾患	45,577,834	3.5%	11	45,940,437	3.9%	10	362,603
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,669,014	0.4%	16	5,138,973	0.4%	17	469,959
IX. 循環器系の疾患	261,950,356	20.3%	1	219,891,353	18.4%	1	-42,059,003
X. 呼吸器系の疾患	71,597,299	5.5%	9	65,697,607	5.5%	9	-5,899,692
X I. 消化器系の疾患 ※	87,318,023	6.8%	6	75,993,932	6.4%	7	-11,324,091
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	17,809,491	1.4%	14	15,799,181	1.3%	14	-2,010,310
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	92,269,895	7.1%	5	89,818,559	7.5%	4	-2,451,336
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	75,231,785	5.8%	8	67,165,165	5.6%	8	-8,066,620
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,474,929	0.2%	19	812,652	0.1%	19	-1,662,277
X VI. 周産期に発生した病態 ※	117,914	0.0%	21	426,555	0.0%	21	308,641
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,769,139	0.3%	18	6,040,045	0.5%	16	2,270,906
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,509,805	1.9%	13	20,882,572	1.8%	13	-3,627,233
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	61,471,543	4.8%	10	41,272,624	3.5%	11	-20,198,919
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,101,496	0.3%	17	4,231,807	0.4%	18	130,311
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0
分類外	144,375	0.0%	20	605,316	0.1%	20	460,941
合計	1,290,541,970			1,193,183,360			-97,358,610

※出典:石川町第2期データヘルス計画、石川町国民健康保険ポテンシャル分析

### 中分類による疾病別医療費統計 医療費順(第2期計画策定時との比較)

年度	順位		医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	患者一人当たりの 医療費(円)
平成28年度	1	その他の悪性新生物<腫瘍>	88,806,057	6.9%	534	14.3%	166,303
	2	高血圧性疾患	86,206,313	6.7%	1,534	41.0%	56,197
	3	その他の心疾患	69,211,251	5.4%	661	17.7%	104,707
	4	糖尿病	66,212,966	5.1%	1,118	29.9%	59,224
	5	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	55,153,349	4.3%	141	3.8%	391,159
	6	その他の消化器系の疾患	52,969,933	4.1%	1,159	31.0%	45,703
	7	腎不全	45,016,165	3.5%	84	2.2%	535,907
	8	脂質異常症	42,321,802	3.3%	1,073	28.7%	39,442
	9	虚血性心疾患	38,866,429	3.0%	526	14.1%	73,891
	10	その他の神経系の疾患	36,403,129	2.8%	976	26.1%	37,298
令和元年度	1	その他の悪性新生物<腫瘍>	85,817,869	7.2%	503	15.3%	170,612
	2	その他の心疾患	65,374,621	5.5%	669	20.4%	97,720
	3	糖尿病	64,302,671	5.4%	1,049	32.0%	61,299
	4	高血圧性疾患	63,179,939	5.3%	1,456	44.4%	43,393
	5	その他の消化器系の疾患	45,558,091	3.8%	1,030	31.4%	44,231
	6	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	44,421,467	3.7%	129	3.9%	344,352
	7	その他の神経系の疾患	44,128,211	3.7%	872	26.6%	50,606
	8	腎不全	43,764,030	3.7%	74	2.3%	591,406
	9	脂質異常症	35,500,399	3.0%	1,017	31.0%	34,907
	10	虚血性心疾患	30,314,187	2.5%	460	14.0%	65,900

### 中分類による疾病別医療費統計 患者数順(第2期計画策定時との比較)

年度	順位		医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)	患者一人当たりの 医療費(円)
平成28年度	1	高血圧性疾患	86,206,313	6.7%	1,534	41.0%	56,197
	2	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,939,814	0.5%	1,218	32.6%	5,698
	3	胃炎及び十二指腸炎	12,719,740	1.0%	1,172	31.3%	10,853
	4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,509,805	1.9%	1,160	31.0%	21,129
	5	その他の消化器系の疾患	52,969,933	4.1%	1,159	31.0%	45,703
	6	糖尿病	66,212,966	5.1%	1,118	29.9%	59,224
	7	脂質異常症	42,321,802	3.3%	1,073	28.7%	39,442
	8	アレルギー性鼻炎	8,533,687	0.7%	989	26.5%	8,629
	9	その他の神経系の疾患	36,403,129	2.8%	976	26.1%	37,298
	10	その他の急性上気道感染症	4,708,826	0.4%	957	25.6%	4,920
令和元年度	1	高血圧性疾患	63,179,939	5.3%	1,456	44.4%	43,393
	2	胃炎及び十二指腸炎	9,388,547	0.8%	1,065	32.5%	8,816
	3	糖尿病	64,302,671	5.4%	1,049	32.0%	61,299
	4	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,882,572	1.8%	1,034	31.5%	20,196
	5	その他の消化器系の疾患	45,558,091	3.8%	1,030	31.4%	44,231
	6	脂質異常症	35,500,399	3.0%	1,017	31.0%	34,907
	7	急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,154,931	0.3%	892	27.2%	4,658
	8	その他の神経系の疾患	44,128,211	3.7%	872	26.6%	50,606
	9	アレルギー性鼻炎	8,385,968	0.7%	808	24.6%	10,379
	10	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,466,392	0.3%	787	24.0%	4,405

※出典:石川町第2期データヘルス計画、石川町国民健康保険ポテンシャル分析(上下とも)

#### 4. 個別事業の評価・見直し・改善策

##### (1) 特定健診未受診者受診勧奨事業

###### ①事業内容

背景	医療費が高額な疾病、患者数が多い疾病、一人当たりの医療費が高額な疾病の中に生活習慣病がある。生活習慣病の早期発見、早期治療、さらには重症化予防のためにも特定健診受診率の向上を図る必要がある。
目的	特定健診未受診者の減少
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の自己負担は無料とし、保険協力員による健診録の配布と受診勧奨を行う。</li> <li>・業者委託によるレセプトデータの分析から、がん、精神疾患、難病、認知症、人工透析ありを除いた前年度受診歴の無い被保険者に対し、特定健診の重要性、受診方法等を記載した受診勧奨ハガキによる受診勧奨を行う。</li> </ul>
評価指標・目標値	<p>【アウトプット】対象者への通知率 100%</p> <p>【アウトカム】勧奨対象者の健診受診者 130 人・特定健診受診率 50%</p>

###### ②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
対象者への通知率	100%	100%	H28 100% H29 100% H30 100% R1 100%	A	B	業者委託による対象者の抽出と、デザイン性の高い勧奨ハガキにより勧奨効果を高めた。令和元年度にあっては集団検診の日程と令和元年東日本台風が重なったこともあり、向上していた受診率も減少する結果となった。	短期目標値は達成しているが、対象者の健診受診者は減少傾向にあり、年々効果が薄れてきている。勧奨通知内容の見直しを行うなど勧奨効果を高める取り組みを検討し、受診率の向上を図るため、引き続き受診勧奨を行うこととする。
【短期目標】 勧奨対象者の健診受診者	130 人	326 人	H28 326 人 H29 215 人 H30 188 人 R1 150 人	A			
【中長期目標】 特定健診受診率(法定報告)	50%	38.7%	H28 38.7% H29 40.1% H30 42.1% R1 40.3%	B			

## (2) 国保人間ドック実施事業

### ①事業内容

背景	特定健診の受診率が低い状況にある。人間ドックによる総合的な健康診断を実施し、生活習慣病の早期発見、早期治療、さらには重症化予防のためにも特定健診受診率の向上を図る必要がる。
目的	特定健診受診率向上
具体的内容	当年 35 歳、40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳に達する被保険者を対象に、希望者に対して契約病院による人間ドックを実施する。 ・契約病院（会田病院・ひらた中央病院） ・自己負担額 10,000円
評価指標・目標値	【アウトプット】対象者への通知率 100% 【アウトカム】人間ドック受診者 150 人・特定健診受診率 50%

### ②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
対象者への通知率	100%	100%	H28 100% H29 100% H30 100% R1 100%	A	B	被保険者数の減少により対象者数も減少しているが、受診者数が年々減少し、目標定員に届かない状況にある。契約病院の拡大を検討したが新型コロナウイルスの影響があり延期となっている状況にある。	受診者数が年々減少傾向にあり、特定健診の受診率も目標に届かない状況にある。傷病の早期発見、早期治療、特定健診の受診率の向上に繋げるため、実施医療機関の拡大や、対象年齢、自己負担額等について検討を行い、受診しやすい環境の整備を図ることとする。
【短期目標】人間ドック受診者	150人	114人	H28 114人 H29 104人 H30 97人 R1 90人	C			
【中長期目標】特定健診受診率(法定報告)	50%	38.7%	H28 38.7% H29 40.1% H30 42.1% R1 40.3%	B			



### (3) 特定保健指導事業

#### ①事業内容

背景	石川町国民健康保険の特定健康診査のメタボリックシンドローム該当割合は県、国と比較しても高く、ここ数年増加傾向である。
目的	被保険者の生活習慣病予防及びメタボリックシンドローム該当者の減少
具体的内容	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、保健師等による支援を面接や電話等で行う。 ・「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」に階層化。 ・行動目標、計画の策定。
評価指標・目標値	【アウトプット】 特定保健指導実施率 【アウトカム】 改善率

#### ②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
特定保健指導実施率(法定報告)	45%	13.3%	H28 13.3% H29 6.6% H30 15.9% R1 39.8%	B	B	平成30年度より保健指導の方法の見直しを行い、継続したことと、令和元年度は管理栄養士を任用職員として雇用しマンパワーの確保を図ったことから2年連続で指導率を伸ばすことができた。	指導率は向上したが目標値には達していないため、今後も指導率向上への取り組みが必要であり、効果的な保健指導の実施により改善率も上げていく必要がある。改善率を上げるため、初回面接1回のみとしている動機づけ支援を、複数回のアプローチとすることも必要である。
改善率	50%	43.5%	H28 43.5% H29 40.9% H30 18.2% R1 43.6%	C			

#### (4) 健診異常値放置者受診勧奨事業

##### ①事業内容

背景	特定健診の結果通知後、受診勧奨判定値であるにもかかわらず医療機関受診をしないままになっている方がいる。生活習慣病の早期発見、早期治療のためにも医療機関受診を促す必要がある。
目的	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診と重症化予防
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果説明会に出席した方で受診勧奨対象者には保健指導とともに医療機関受診を促す。</li> <li>・医療機関からハガキの返信がなく、レセプトでも受診が確認できない方に対し、ハガキでの受診勧奨を行う。</li> <li>・ハガキでの受診勧奨でも受診が確認できない方に対し、電話や訪問による受診勧奨を行う。</li> </ul>
評価指標・目標値	【アウトプット】対象者への通知率100% 【アウトカム】医療機関受診率

##### ②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
対象者への通知率	100%	100%	H28 100% H29 100% H30 100% R1 100%	A	B	ハガキでの受診勧奨通知は送付していたものの、通知以外の受診勧奨を徹底して行えていなかったことが目標値に届いていない要因であると考えられる。	再勧奨の電話や訪問の働きかけを確実にこなしている。そのためには、再受診勧奨の優先度を確認し、必要のある方を確実に受診に繋げて行く。
受診率	70%	50.2%	H28 50.2% H29 63.0% H30 50.6% R1 58.4%	B			

(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

①事業内容

背景	一人当たりの医療費が高額な疾病の第3位（平成28年度）は腎不全である。 特定健診の有所見者割合についても、血糖、HbA1c、クレアチニンが高い状況にある。
目的	被保険者の糖尿病性腎症の重症化予防
具体的内容	石川町糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく事業の実施。 ・対象者を抽出し、指導の進め方、医療機関との調整を行い、適切な指導を実施する。 ・特定健康診査結果または医療機関での検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。
評価指標・目標値	【アウトプット】対象者への受診勧奨及び保健指導実施率 10% 【アウトカム】未受診者の受診 10人・治療中断者の受診 5人 指導完了者の新規人工透析移行者 0人

②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
受診勧奨対象者	—	—	H30 30人 R1 20人	D	D	かかりつけ医、専門医との調整が図れていない。	必要な支援ができるように医師との連携に努める。
未受診者の受診	10人	—	H30 14人 R1 7人	D			

(6) ジェネリック医薬品差額通知事業

①事業内容

背景	本町のジェネリック医薬品の普及率は年々上昇傾向にあるものの、国が目標とする80%には届いていない状況にある。
目的	ジェネリック医薬品の使用を促すことで、医療費の削減を目指す。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の抽出と差額通知書の作成を福島県国民健康保険団体連合会へ委託する。</li> <li>年1回6月に通知する。</li> </ul>
評価指標・目標値	<p>【アウトプット】対象者への通知率 100%</p> <p>【アウトカム】前年比5%増（数量ベース）・普及率 80%（数量ベース）</p>

②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
対象者への通知率	100%	100%	H28 100% H29 100% H30 100% R1 100%	A	B	ハガキで行っていた通知を平成29年度よりA4の通知書に変更し薬品名など字を大きくしわかりやすい通知書にした。	年1回の通知で年間の普及率は向上してきているが、中長期目標である80%には届いていない。目標達成に向けて、回数を増やし実施することも検討する必要がある。
【短期目標】 年間普及率 (数量ベース)	前年比 5%増	—	H28 4.0% H29 Δ0.3% H30 1.0% R1 Δ1.3%	C			
【中長期目標】 年間普及率 (数量ベース)	80%	60.8%	H28 60.8% H29 65.5% H30 71.5% R1 75.2%	B			

(7) 健康ポイント（いしかわマイレージ）事業

①事業内容

背景	急速な少子高齢化、核家族化とともに、不規則な生活習慣や運動不足、ストレスを原因とする生活習慣病や介護を要する高齢者、こころの病を抱える人が増加しており重要な課題となっている。
目的	健康づくりへのきっかけと健康への関心を高める
具体的内容	自分の健康行動（ウォーキング、食生活改善等）や健康づくり事業、ボランティア活動に参加することでいしかわマイレージカードにポイントを付与する。
評価指標・目標値	【アウトプット】健康ポイント事業の普及啓発 【アウトカム】参加者数の増加

②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
参加人数 (延べ)	—	—	H28 1,249 人 H29 2,507 人 H30 2,951 人 R1 2,064 人	D	D	平成 28 年度に開始した事業で、年々参加者数が増えてきているが、リピーターが多く新規者参加者が増えない。	健康づくりの無関心層への働きかけを強化するためにも、さらに魅力のある健康ポイント事業の内容を検討していく必要がある。 新規参加者を増やすためにも広報等周知の方法に工夫が必要である。 毎月、広報に掲載して、事業の周知を図る。
ポイント付与数	—	—	H28 16,810P H29 117,740P H30 122,660P R1 116,190P	D			

## (8) ポピュレーションアプローチ事業

### ①事業内容

背景	急速な少子高齢化、核家族化とともに、不規則な生活習慣や運動不足、ストレスを原因とする生活習慣病や介護を要する高齢者、こころの病を抱える人が増加しており重要な課題となっている。
目的	町民全体の健康意識の向上と行動変容のきっかけづくり
具体的内容	各種健康づくり事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯筋クラブ、水中エクササイズ教室、男性のためのイキイキ教室等</li> <li>・健康づくりのための料理講習会、食育に関する健康教育</li> </ul> 健康増進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙・受動喫煙防止のための講演会、生活習慣病に関する健康教室の開催等。</li> </ul>
評価指標・目標値	【アウトプット】健康づくりや健康増進事業の実施 【アウトカム】参加者の増加

### ②評価と見直し・改善策

評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン	経年変化	指標評価	事業評価	要因 (うまくいった・うまくいかなかった要因)	見直しと改善策
参加者数 (事業延べ)	—	—	H28 — H29 1,264 人 H30 1,209 人 R1 1,249 人	D	D	各種健康づくり事業等を実施しているが、リピーターが多く新規参加者が増えない。 その理由として、対象を絞り込んでの参加勧奨を実施していないことが考えられる。	若い頃からの生活習慣の改善を若い年代の町民に働きかけていく必要がある。また、必要な方に必要な事業を結びつけるため、対象を絞り込んで健康づくり事業等へ参加勧奨していく。

5. 個別事業の達成状況及び最終目標値

達成状況	A	目標値を達成
	B	目標値は未達成だが、改善傾向
	C	目標値が未達成で、悪化傾向
	D	評価困難

事業名	中長期目標		実績値				達成状況	最終目標値
	指標	目標値	平成 28 年度 (計画策定時)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
特定健診未受診者受診勧奨事業	特定健診受診率 (法定報告)	50%	38.7%	40.1%	42.1%	40.3%	B	50%
国保人間ドック実施事業	特定健診受診率 (法定報告)	50%	38.7%	40.1%	42.1%	40.3%	B	50%
特定保健指導事業	改善率	50%	43.5%	40.9%	18.2%	43.6%	B	50%
健診異常値放置者受診勧奨事業	受診率	70%	50.2	63.0%	50.6%	58.4%	B	70%
糖尿病性腎症重症化予防事業	未受診者の受診	10 人	—	—	14 人	7 人	D	保健指導による改善率 50%
ジェネリック医薬品差額通知事業	普及率 (数量ベース)	80%	60.8%	65.5%	71.5%	75.2%	B	80%
健康ポイント(いしかわマイレージ)事業	ポイント付与数	—	16,810 ポイント	117,740 ポイント	122,660 ポイント	116,190 ポイント	D	150,000 ポイント
ポピュレーションアプローチ事業	参加者数 (事業延べ)	—	—	1,264 人	1,209 人	1,249 人	D	1,300 人

※糖尿病性腎症重症化予防事業については、保健指導の実績がないため短期目標の実績で判定。

## 6. 全体の評価・見直しと今後の方向性

### (1) 全体の評価

①評価視点（評価を下記の4つの視点から評価する。）

ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム
計画の目的・目標を達成するための体制が確保され、関係者と連携が図られているか。	健診結果やレセプトデータ等に基づく現状分析を踏まえた課題抽出ができているか。	データヘルス計画上の保健事業がどの程度実施できているか。	計画を実行することにより目指す目標・目的を達成することができたか。 【中長期的な目標】 生活習慣病の重症化を予防し高額医療費を抑制し、医療費の伸びを抑制する。

### ②第2期データヘルス計画の評価

評価視点	評価指標	現状分析	指標評価	事業評価	反省点・改善点等
ストラクチャー	計画の目的・目標を達成するための体制や予算が確保され、関係者と連携が図られているか。	【体制】 町民課 2名 保健福祉課 保健師3名、管理栄養士1名 【予算】 全ての事業において確保された。 【関係者との連携】 かかりつけ医、郡医師会	A	B	国保部門、衛生部門とで連携を図りながら事業を進めてきたが、県、国保連、医師会等の外部機関との連携が十分に図り切れなかったことが課題である。
プロセス	健診結果やレセプトデータ等に基づく現状分析を踏まえた課題抽出ができているか。	特定健診結果、KDB データ、レセプト等から得られるデータの活用と、業者委託による医療費分析等により現状分析を行い課題の抽出を行っている。	A		KDB を十分に活用できていないため、事業の分析、実施に有効活用を図りたい。
アウトプット	データヘルス計画上の保健事業がどの程度実施できているか。	計画した事業はすべて実施しているが、実施が遅れた事業があった。	A		
アウトカム	計画を実行することにより目指す目標・目的を達成することができたか。	被保険者数の減少により総医療費は減少したが、一人当たり医療費、高額レセプトの割合は増加している。 計画策定時と比較しても患者数、医療費の高額な疾病の中で生活習慣病が占める割合が依然として上位となっている。	C		個別事業の達成状況を見ると改善傾向にあるものの目標の達成には至っていない。 反省点・改善点について見直しを図り、目標の達成に向けて、より効果的な事業の実施を検討する必要がある。



## (2) 見直しと今後の方向性

全体を評価すると、体制、予算は確保され、すべての事業を実施することができていたが、目標とする医療費の抑制については、第2期計画策定時と比較すると被保険者数の減少により総医療費は減少しているものの、被保険者一人当たり医療費、レセプト1件当たりの医療費は増加しており、総医療費に占める高額レセプトの割合も増加しており、目標を達成できていない状況にあります。

疾病別でも医療費は減少していますが医療費順、患者数順ともに糖尿病、高血圧疾患といった生活習慣病とがん（悪性新生物）の占める割合が多く、患者数の割合も増加しています。

個別事業の達成状況を見ると改善傾向にはあるものの、令和元年の台風第19号、新型コロナウイルス感染症等の影響等もあってか、目標値を達成することができませんでした。

生活習慣病は、発症から重症化までの期間が長く、重症化した場合の医療費も大きくなっていることから、早期発見と重症化を予防するためにも特定健診の受診率の向上を図るための未受診者対策と、生活習慣病重症化予防のための取り組みを行っていく必要があります。

これらの状況から、これまでの事業を継続し、特定健診、特定保健指導率を向上させるための取り組みと、生活習慣病の重症化を予防し、医療費の伸びを抑制するための取り組みを継続していくこととします。

また、評価基準が不明確であり評価が困難な事業があったことから、中間評価における反省点、改善点を踏まえ、評価指標・目標値を見直すこととし、令和3年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施による事業も開始されるため、それらの事業とも連携を図りながら、引き続き目標の達成に向けた取り組みを実施していくこととします。

### ① 中長期的な目標

- 生活習慣病の重症化を予防し、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の高額医療件数を抑制することにより、医療費の伸びを抑制する。
- 健診異常値放置者を治療に結びつけることで、脳血管疾患や虚血性心疾患の新規発症件数を抑制していく。

### ② 短期的な目標

- 特定健診の受診率向上を図る。特に特定健診未受診者に対して受診勧奨をする。
- 特定健診の結果、血圧・血糖・HbA1c・LDL-C・クレアチニンの値及び心電図検査が要医療となった者の中で、医療機関未受診者に対し受診行動につながるよう保健指導を行い、重症化予防を図る。
- 特定保健指導の指導率が低いことから、指導率を向上させる。

### ③ 個別事業における評価指標・目標値の見直し

下記の事業においては、目標の達成状況の評価が困難な指標であったため、より適切な評価を行うため評価指標、目標値を見直すこととします。

#### 1) 特定保健指導事業

見直し前	見直し後
【アウトプット】 保健指導完了率 45%	【アウトプット】 保健指導終了率 45%（法定報告値）
【アウトカム】 [短期目標] 連続対象者を前年と比べて3人減らす	【アウトカム】 [短期目標] 生活習慣改善率の増（前年比）
[中長期目標] 保健指導対象者現状維持（平成29年度 173人）	[中長期目標] 生活習慣改善率 50%

2) 健診異常値放置者受診勧奨事業

見直し前	見直し後
<p>【アウトプット】 対象者への通知率 100%</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 医療機関を受診した人数を前年比 5 人増 [中長期目標] 医療機関を受診した受診率 70%にする</p>	<p>【アウトプット】 対象者への通知率 100% 電話や訪問による再受診勧奨 100%</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 医療機関受診率の増（前年比） [中長期目標] 医療機関受診率 70%</p>

3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

見直し前	見直し後
<p>【アウトプット】 対象者への受診勧奨および保健指導実施率 10%</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 未受診者の受診 10 人 治療中断者の受診 5 人 [中長期目標] 指導完了者の新規人工透析移行者 0 人</p>	<p>【アウトプット】 対象者への受診勧奨および保健指導実施率</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 未受診者受診率の増（前年比） 治療中断者受診率の増（前年比） 保健指導による改善率 50% [中長期目標] 指導完了者の新規人工透析移行者 0 人</p>

4) 健康ポイント（いしかわマイレージカード）事業

見直し前	見直し後
<p>【アウトプット】 健康ポイント事業の普及啓発</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 参加者が前年度より増加 [中長期目標] 町民全体の健康意識への行動変容</p>	<p>【アウトプット】 健康ポイント事業の普及啓発</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 参加者数の増（前年比） [中長期目標] ポイント付与数 150,000 ポイント</p>

5) 各種健康教育（ポピュレーションアプローチ）事業

見直し前	見直し後
<p>【アウトプット】 健康づくりや健康増進事業の実施</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 参加者の増加 [中長期目標] 町民全体の健康意識への行動変容</p>	<p>【アウトプット】 健康づくりや健康増進事業の実施回数</p> <p>【アウトカム】 [短期目標] 新規参加者の増加（前年比） [中長期目標] 参加人数 1,300 人（事業延べ）</p>